

現在会員登録数 1052 人さま。1000 名を突破しました！ 配信開始から 2 年半、記念すべき日は 3 月 9 日（サンキュー）にやってきました。しかも 1000 人の方のメールアドレストップは march さん。皆さま、これからも末永くご愛読ください。次号は 4 月 20 日発行の予定です！

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

【1】お知らせ

【2】コラム

《1》 YO! この本読んだ? Yasuko's & Okiko's Talk

《2》 読書活動ボランティアのためのワンポイント 31

《3》 サイト紹介 -子どもの本をリサーチする-

《4》 行って来ました!

【3】全国のイベント紹介

【4】プレゼント

【1】お知らせ

● 当財団は名称を変更し、一般財団法人に移行します（予定）

財団法人 大阪国際児童文学館は、平成 25 年 4 月 1 日付けで、一般財団法人へ移行するとともに、名称を変更し「一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団」になる予定です。

新法人への移行、名称変更を機に、さらに、子どもの本・子どもの文化を通して社会に貢献できますよう努力を続けてまいります。今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

● 「第29 回ニッサン童話と絵本のグランプリ」入賞作品決定

全国のアマチュア作家から寄せられた創作童話 2,335 編、絵本 476 編、計 2,811 編の中から、入賞作品 38 編を決定しました。

・童話の部 優秀賞一席 『わけありリンゴのアップルパイ』 浅井優子 さん

・絵本の部 大賞 『ゆみちゃんはねぞうがわるい子です』 宮崎明美 さん

上記の 2 作品は、後日、絵本として出版されます。

※入賞作品展 3 月 24 日（日）まで開催中

大阪府立中央図書館 1 階エントランス および国際児童文学館展示コーナー
開催日・時間は、上記館の開館日、時間に準じます！

http://www.iiclo.or.jp/07_com-con/02_nissan/index.html#29happyo

● 寄付金を募集しています

当財団の運営を応援いただける個人、法人の皆さまからのご寄付を募っています。寄付金は、当財団が行う講座・講演会など、さまざまな事業経費に充てさせていただきます。ぜひ、ご協力いただきますようお願いいたします。

お申し込み、詳細は → <http://www.iiclo.or.jp/donation.html>

【2】コラム

《1》 Y O ! この本読んだ? Yasuko's & Okiko's Talk

『スターリンの鼻が落ちた』 ユージン・イェルチン/作・絵 若林千鶴/訳
岩波書店 2013年2月 対象年齢：小学校高学年以上

あらすじ：舞台はスターリン政権下のソ連。サーシャはピオネール団に入ることを心待ちにしている10歳の少年で、父は秘密警察に務めており、アメリカ人の母は死んだと聞いている。入団式の朝、同じアパートの住人の密告で父は警察に連行され、サーシャは一人で入団式の旗手の練習をしていてスターリン像の鼻を壊してしまう。その犯人探しの過程と父親の連行をきっかけにサーシャの信念が崩れていく。

Y：スターリン政権下の人々の暮らしが描写されていて、とても興味深く読みました。

O：体験した人しかわからないことが、このようにフィクションとして描かれることは意味のあることだと思います。著者がアメリカに移住したからこそ書けた作品ですが、当時の社会状況が冷静な視点で描写されています。

Y：父は隣人に密告され、父の妹であるおばさんはサーシャを家に入れてくれない。学校では厳格な教師がユダヤ人の生徒や、父親が政治犯である生徒に偏見を持ち、スターリン像を壊した犯人に仕立て上げようとする、など、サーシャの信じていた世界が崩れていくさまがリアルに描かれています。

O：思想統制が大人だけでなく、子どもにまで浸透している状況がよく描かれていました。粛清や自白の怖さが伝わって背筋が寒くなりました。

Y：この本では、政治犯の息子のヴォフカがスターリン像の鼻を教師の机の中に入れて、教師が逮捕されることや、サーシャが愛していた父は実は秘密警察として、アメリカ人の妻を裏切っていたことが書かれています。

O：お互いがお互いを監視し合う社会の中で、誰もが政治犯になり得る恐ろしさを感じます。個人崇拜と愛国主義の危うさは、過去のものではなく、現在の世界状況の中でもつながってきますね。

Y：結末で、サーシャが父親に面会するために刑務所の前で並び、息子が刑務所に入っている女の人にマフラーを巻いてもらい、息子のベッドを使っていると言われます。

O：どんな社会の中でも、裏切りと同時に人間どうしの信頼や人の温かさもあることが書かれていて、ほっとしてしまいました。軟弱な読者です。

《2》 読書活動ボランティアのためのワンポイント 31

その6 絵本の読み方(6)『どろんこハリー』を読む：起承転結に留意

前回は『どろんこハリー』の表紙から冒頭部分まで読みました。ここから最後までを読むときに留意することは、まずは、全体を一つの物語としてとら

え、それをふまえて読むことです。

まず、この作品を便宜上、起承転結に分けてみます（1～20は画面に番号を付したものです）*注。

起：お風呂場からブラシをとって裏庭に埋める（とびら～2）

承：どろだらけになって遊ぶ（3～9）

転：家に帰るが、家族にわかってもらえない（10～13）

結：ブラシを掘って家族に渡し、お風呂で洗ってもらって、家族に認めてもらい寝る（14～20）

すると、裏庭に埋めたところから外へ抜け出すところ（2と3）、家に帰ろうとしているところから家に到着するところ（9と10）、家族に認められなくてがっかりしているところから、庭へ行ってブラシを掘りだすところ（13と14）に、それぞれ一定の時間があり、読むときの「間」が作られるところだということがわかります。

前回の続きで1からページごとに見ていくことにします。

1、2、3は半ページずつになっており、見開きすべてを使った画面に比べて盛り上がる場面ではありません。1から2へ移行するとき、1の終わりが「・・・」で終わって「うらにわに うめました。」で文が終わるため、つながった感じでページをめくって読みます。2と3は、同じページにありますが、「うらにわ」という場所から「そと」へと空間が移動し、「うめました」という停止した状況から「ぬけだしました」という動きのある状況に変化しているため、同じパターンの文ながら少し感じを変えて読む必要があります。

絵も2ではハリーが穴の中に頭を突っ込んでいるので、止まった感じがし、3では、ページの右寄りを次のページに一目散に向かっている様子が描かれていますので、3と4のページはさっとめくります。3では、ネコやお店の人や赤ちゃんが、ハリーの歩いていくのをまるで「何をそんなに急いでいるのだろう」という目で見ており、それに目もくれないハリーの様子が心はどろあそびにあるという状況を表現しています。

*注：起承転結の分け方は作品の解釈の違いによって他の考え方もあります。そして、それによって読み方も変わってきます。ここでは、一つの読み方を提示するための分け方としてご理解ください。

*次号は「その6 絵本の読み方（7）『どろんこハリー』を読む：どろあそびを楽しむ」の予定です。質問や意見をいただきましたら、お答えしていきたいと思えます。（Y）

《3》 サイト紹介 一子どもの本をリサーチする一

一次資料データベース 11 回目。今回ご紹介するのは以下のサイトです。

●京都大学電子図書館 貴重資料画像 挿絵とあらすじで楽しむ お伽草子

<http://edb.kulib.kyoto-u.ac.jp/exhibit/otogi/cover/index.html>

「お伽草子」は、室町から江戸時代にかけて成立した絵入り物語です。まだ

子ども向けの読み物が確立していない時代にあつて、当時の子どもたちにも明るい彩色、素朴な作風が愛されたと言われており、日本の子どもの本の源流の一つに位置づけられています。

京都大学附属図書館に所蔵されている「お伽草子」13篇を、まるで絵本を読むように見られるのがこのサイトです。

お伽草子の魅力は、何と言っても色鮮やかで美しい絵と、その斬新かつ奇抜な物語です。サイトでは、原典の魅力的な絵はそのままに、古文が苦手という方のために、物語はわかりやすい平易な現代語訳に直してあります。ゆえに、原典の持つ風合いを損なわず、気軽に楽しめるようになっています。

物語の一つ、「付喪神（つくもがみ）」は、人間に捨てられた古道具が、妖怪となって復讐する話。「作られてから百年経った道具には魂が宿り、人の心を惑わす」。こうした言い伝えをもとに、数珠の一連入道、手棒の荒太郎など、擬人化された古道具たちがさまざまな姿の妖怪となりますが、そのユーモアあふれる絵や表情が何とも楽しい作品です。

他に、昔話としてよく知られた「物くさ太郎」、姫のあまりの美しさに心を奪われてしまったきつねを描く「玉水物語」、ある娘のもとに夜ごと通う不思議な男の話「雁の草子」などがあります。サイトは、物語が見やすくわかりやすいよう、絵と文章が対応するように編集されていますが、それぞれの作品ページから原典の画像を見ることもできるよう工夫されています。

「お伽草子」は、全部で400編以上あるとも言われ、作品のバリエーションも豊かですが、昔話などのわかりやすい物語、美しいシンプルな絵が子どもにも親しまれたのでしょう。(J)

※次号は、一次資料データベース篇〈その12〉の予定です。

《4》 行って来ました！

阪急うめだギャラリーで開催されている「くまのがっこう絵本原画展」に行ってきました。「くまのがっこう」のシリーズ（あいはらひろゆき／文 あだちなみ／絵 ブロンズ新社）は、学校の寄宿舎で子どもだけで暮らす、11匹のおにいちゃんくまと、女の子くまのジャッキーの日常が描かれた物語です。2002年に第1作『くまのがっこう』が出版されてから2012年の第17作『ジャッキーのクリスマス』まで、累計200万部以上が売れている人気の絵本です。

展覧会は、全体が「くまのがっこう」の雰囲気になっていて、「くまのがっこう」の歴史や12匹のくまのプロフィールなどがテーマごとに、「1時間目」「2時間目」という時間割で紹介されていました。「くまのがっこう」の世界がしっかり設定されていることがわかります。

今回の展覧会には約100点の原画や複製画が展示されていましたが、絵はとても緻密に描かれていて、くまのこたちの洋服や持ち物、棚に置かれた瓶や食器、家具など、おしゃれなデザインで、細かいところまで見て楽しめます。

絵本で見る絵は、手書きで描かれた原画に、背景などの色をコンピューターで加えられたものだということも見比べることができておもしろいです。

会場の出口付近には記念撮影ができる場所があったり、「くまのがっこう」10年の歩みとして、料理教室やミュージカルなどの開催状況が紹介されていたりしました。そして、「くまのがっこう」グッズ売り場が特設されていて、ぬいぐるみはもちろん、食器や文房具、タオルやレシピ本まで種類の多さに驚きます。子ども連ればかりではなく、女性やカップルもたくさんいて、キャラクターとしての「くまのがっこう」の人気のうかがえました。(K)

【3】全国のイベント紹介

● 第23回 箕面手づくり紙芝居コンクール 作品募集

募集期間：4月2日（火）～5月15日（水）必着

募集規定：アマチュアの手作り作品に限る、ほか

募集部門：・ジュニアの部（作者・画家・演者とも小学生・中学生の作品）

・一般の部A部門（個人団体を問わず当コンクール入賞経験者）

・一般の部B部門

主催：箕面市教育委員会 / 人と本を紡ぐ会

問合せ先：箕面市立中央図書館

上記イベントの詳細およびその他の講座・講演会、展示会、公募情報については、こちらからご覧ください。↓↓

http://www.iiclo.or.jp/03_event/04_other/index.html

※イベント情報をお送りください。当財団HPに掲載させていただきます／

【4】プレゼント

今号のコラム《1》「YO!この本読んだ?」で紹介しました『スターリンの鼻が落ちた』を1名の方にプレゼントします。ご希望の方は、メールで件名「メルマガN0.31プレゼント希望」とし、(1)お名前 (2)郵便番号・住所 (3)電話番号 (4)メールアドレス、よろしければ(5)このメルマガのご感想をお書きのうえ office@iiclo.or.jp にお送りください。

締切は4月10日(水)、当選発表は発送をもって代えさせていただきます／

編 | 集 | 長 | の | つ | ぶ | や | き |

「ホー、ケキョ」土曜日の朝、今年初めて、まださほどうまくないウグイスの声を聞いた。日曜日の午後はサッカー観戦。20℃、暖かい日和だった。月曜日、大相撲春場所、桟席を初体験。火曜日、佐保川堤の桜が1本だけ咲いていた。水曜日は春分の日、墓参りに自転車で出かけた。いつのまにか、でも確実に、春が来ている。衣替えの準備は、まだだ…。(A)

みなさまのご意見・ご感想をお聞かせください。下記メールアドレスまでお願いします。原則として返信はいたしませんのでご了承ください。

- このメールマガジンは、ご登録いただきました皆様に配信しています。
- 配信の登録・解除・変更は、
http://www.iiclo.or.jp/m1_magazine/index.html パソコンからどうぞ
- このメールの送信アドレスは配信専用です。
- 記事の無断転載はご遠慮ください。

発行：財団法人 大阪国際児童文学館 <http://www.iiclo.or.jp/>
〒577-0011 大阪府東大阪市荒本北1-2-1 大阪府立中央図書館内
TEL：06-6744-0581 FAX：06-6744-0582 E-mail：office@iiclo.or.jp
